

斎場周辺大気環境測定結果（令和5年度）

川越市斎場では、火葬炉等の適正な運転状況を確認するため、周辺大気を測定し、環境への影響について確認しています。
このたび、令和5年度の測定結果がまとまりましたので、お知らせします。

測定時期：令和6年2月（斎場排ガス測定と同時期）
測定場所：川越市斎場周辺
測定内容：測定項目は、下表の7項目
測定方法：環境省の定める方法に準ずる方法
測定機関：ユーロフィン日本環境（株）

測定結果：測定結果は、参考基準を満たし、市内測定局等のデータと同程度であり、火葬炉の稼働に伴う大きな影響は特に見られませんでした。

項目		測定結果（2日間）		参考基準 （環境基準等：年間値）		市内測定局等のデータ （参考）（*2）
二酸化硫黄	ppm	1時間値の1日平均値	0.000	0.04以下	○	0.001
		1時間値の最大値	0.002	0.1以下	○	0.001
浮遊粒子状物質	mg/m ³	1時間値の1日平均値	0.008～0.012	0.10以下	○	0.006～0.012
		1時間値の最大値	0.021	0.20以下	○	0.039
二酸化窒素	ppm	1時間値の1日平均値	0.015～0.021	0.06以下	○	0.013～0.026
塩化水素	ppm	期間最大値(日平均)	0.002未満	0.02以下（*1）	○	—
ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	期間値(日平均)	0.015～0.021	0.6以下	○	0.011～0.031
水銀	μg/m ³	期間値(日平均)	0.0012～0.0014	0.04以下	○	0.0013～0.0021
クロム	μg/m ³	期間値(日平均)	0.002～0.004	—	—	0.0003～0.053

※ 環境基準等(塩化水素を除く)は年間の評価であり、本測定(2日間)とは単純に比較できないため参考基準としています。

*1：塩化水素の参考基準は、国が廃棄物焼却炉からの排出基準を設定する際に根拠とした数値(目標環境濃度)であり、期間の定めはありません。

*2：市内測定局等のデータは、二酸化硫黄～二酸化窒素は排ガス測定期間のデータ、塩化水素～クロムは公表されている令和4年度のものです。